

## 居酒屋ごっつり 西村 直剛 氏

### テーマ

西村氏がこれまで歩んできた  
人生経験を中心とした内容について

- 開催校 青森県立八戸高等学校
- 日 時 令和6年10月8日 14:20~15:20
- 参加者 全校生徒 670名



## START

### 西村さん登場！



校長先生からの講師紹介の後、BGMと共に声を上げながら登場！

自ら経営されている居酒屋ごっつりのユニフォームを身に付け、生徒に話しかけながら壇上まで目指します。

まさかの登場に生徒たちも大盛り上がりです。

### まずは自己紹介



八戸前沖さばの県外PRショップをはじめとして会社を展開している西村さん。

「北は…北千住から、南は…南千住まで…」

「バラエティー番組に出ている数なら負けません！」

など、独特の表現やジョークを入れながら自己紹介が続き、会場が笑いに包まれます。

## 劣等感を武器に



どんな少年時代を送ったのか、時系列で紹介した上で、当時、容姿をとでも気にしていたことを話します。

「大人になるとわかるようになったんだけど、自分が思っているより周りは気にしていない。劣等感を武器にするんだ。」

と同じような思いを持つ生徒へ言葉を贈ります。

## 野球から教わったこと



野球に打ち込んだ高校時代、途中で足や肩の怪我に見舞われ、代打に専念することを余儀なくされたそう。

悔しい思いをたくさんしたけれど、最後の最後、引退試合で3ランホームランを放った瞬間を今でも忘れられないといいます。

当時を振り返り、努力することの大切さを熱心に伝えます。

## 大忙しだった会社員時代

実家の倒産のため家族で上京した西村さん。

バイト先だった運送会社にそのまま入社した後は、倒産してしまった悔しさを糧に、独立するため一生懸命働いたんだそう。

そんな中、伝えたいことを伝えられないまま、お亡くなりになったご家族のお話があり、今でも後悔しているといいます。

人はいついなくなるか分からないから、身近な人は大事にしなければならない、親孝行した方がいいと伝えます。

そして、40歳の頃、大きな病気を経験し17年半務めた会社を退職されます。

## ついに独立！始めたのは「飲食業」



初めて立ち上げた会社はフランチャイズのホルモン屋でした。

はじめは軌道に乗ったものの、増やした店舗に目が行き届かなくなり、倒産の危機に直面します。

「最後のチャンスに、地元の食材に賭けてみよう。」  
こうして始まったのが今の会社でした。

見事に会社を立ち直らせた西村さんは、八戸の社長さんとの出会いをきっかけに「八戸前沖さば」の魅力に気づき、今では県外PRショップとして全国へPRしています。

## 挑戦と失敗、独立して思うこと

一度は出て行ってしまった西村さんを、温かく受け入れてくれた八戸市に恩返しをしたいという思いで、飲食業の他にも、たくさんの活動をされているそう。

企業誘致や大相撲八戸巡業の開催、サバサミットの誘致や八戸水産高校との交流など、幅広い活動の様子を写真を交えて紹介します。

そんな順風満帆に見える西村さんでも、投資・事業の失敗や借金など多くの失敗をしてきたそうです。自身が40歳で独立したことを「遅かったと思う。」と振り返ります。

## 経済効果は「50億円」



飲食店を通じてたくさんのTV番組に出演してきた西村さん。

専門家によると、西村さんの様々な活動の結果、得られる経済効果はなんと「50億円」にもなるんだそう。

驚きの話のあとは、出演した番組の映像を視聴。有名番組やよく知る芸能人が出演していることに、生徒も驚きのリアクションが続いていました。

## 最後に



前沖さばとの出会いから「無知はプラスに転じること」

八戸の地元食材で会社を立ち直らせた経験から「人は人より優っている部分があると頑張れること」

最後に西村さんからひとこと伝えられセミナーは終了しました。

## 質問タイム



Q.  
まちづくりや地域創生に興味があります。  
西村さんの考える八戸の良さや可能性について教えてください。

A.  
良さは自分を受け入れてくれる「人の良さ」。  
可能性は、魚でも野菜でも「付加価値」を付けること！



Q.  
今まで生きてきた中で最も嬉しかったことは何ですか？

A.  
なんでもすぐ嬉しがるから難しいけど…  
八高に入ったことかな！

## 生徒会長からお礼のあいさつ



「やれない理由を探さない。やると決めたら、どうやったらやれるか考えてやり遂げるという考え方が素敵だと思いました。」

「せっかく勉強しても思いとどまって、自分の能力を使えないと勿体ない。私も西村さんのように真っ直ぐな心で、濃い人生を歩んでいけたらと思います。」

拍手の中、生徒会長からお礼の言葉と花束が贈られました。

## 退場はあの曲で…



退場の時間。

突然、中島みゆきさんの「ヘッドライト・テールライト」が流れ出しました。

体育館が一気に笑いに包まれます！



花束を持って音楽に揺れる西村さん。

最後は大きな拍手に見送られて会場を後にしました。

## 西村さん、ご講演ありがとうございました！



END